

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	田村 美紀	実務経験と その関連資格	看護師 病院等で計8年勤務			
《授業科目における学習内容》						
事例を通じて老年期にある健康障害を持った対象の健康上の問題を抽出し、問題解決に向けた看護が実践できる。						
《成績評価の方法と基準》						
評価は課題レポート点と技術演習評価点、出席と授業態度を含め合計100点満点で評価する。但し、レポートの内容と提出期限に間に合わない場合については減点する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 生活機能からみた老年看護過程 病態・生活機能関連図 医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 スーヴェルヒロカワ						
《授業外における学習方法》						
moodle を活用して共有学習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
老年看護学実習Ⅱにむけて、看護過程の展開を通して、高齢者の特徴を踏まえた看護が提供できるように主体的に取り組んで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達と課題が理解できる	シラバス 資料 教科書	老年看護学概論を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	老年看護学の復習(老年期とは、発達課題、老年期の加齢に伴う変化、疾患の特徴と看護)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例のアセスメントに必要な知識を身につけることができる	資料 教科書	大腿骨頸部骨折について病態、診断、治療について事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	アセスメントに関する講義(病態・検査・治療の理解)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ゴードンの11項目の健康パターンに基づいて情報整理・分析が出来る	資料 教科書	生活歴 フェイスシート ゴードンの11項目の視点において情報分類し、アセスメントしておく	
		各コマにおける授業予定	アセスメント(フェイスシート、発達課題と生活歴、ゴードン11項目)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連図の書き方について(講義) ゴードンの11項目から情報の分析が行える	資料 教科書	ゴードンの11項目の視点においてアセスメントしておく	
		各コマにおける授業予定	アセスメント(ゴードン11項目)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関連図を完成し、優先度の高い看護問題が抽出できる	資料 教科書	関連図を完成し、看護問題を抽出しておく	
		各コマにおける授業予定	関連図を作成し、看護問題を抽出できる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	考えられる看護問題に対して看護計画を立案し、援助計画を考えることができる	資料教科書	看護計画を立案しておくこと
		各コマにおける授業予定	看護問題に着目して、個別性のある援助計画を立案する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	〈演習(実習室)〉 看護計画に基づき、必要な援助を実施し、評価できる	資料教科書	看護計画を立案し、行動計画を立案しておくこと
		各コマにおける授業予定	看護計画に基づいて援助を実施して、評価することができる		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	〈演習(実習室)〉 看護計画に基づき、必要な援助を実施し、評価できる	資料教科書	看護計画を立案し、行動計画を立案しておくこと
		各コマにおける授業予定	看護計画に基づいて援助を実施して、評価することができる		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			